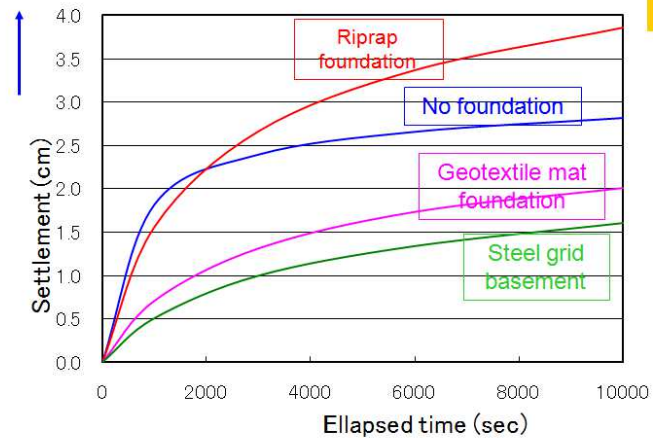


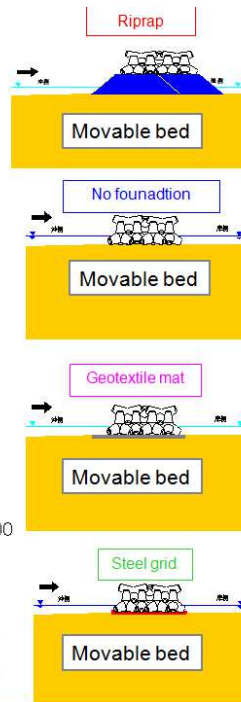
参考文献； 石倉建治・石倉理彦・田中亘・田畑成喜・水野雄三・西 隆一郎：格子網工法に関する基礎的研究海洋開発論文集 第21巻， pp.909-914， 2005年.



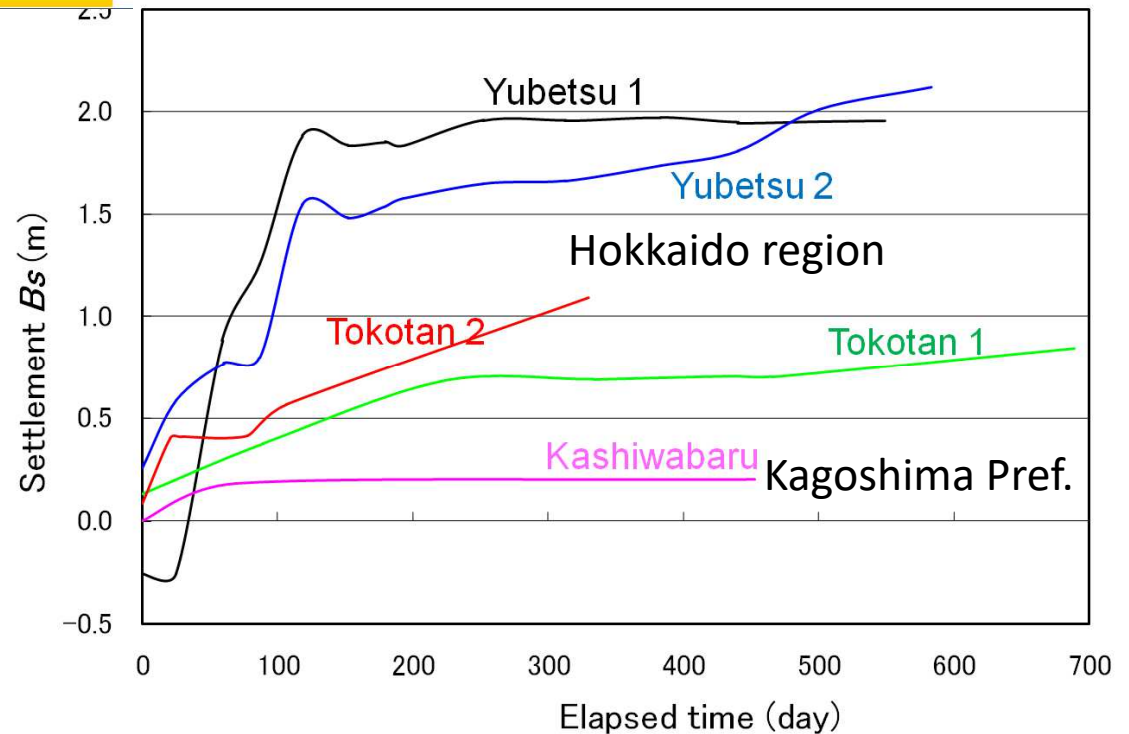
## Settlement by different foundations



Lab. Exp.  $H_i=10.0\text{cm}$ ,  $T_i=2.6\text{sec}$ ,  $h=5.0\text{cm}$

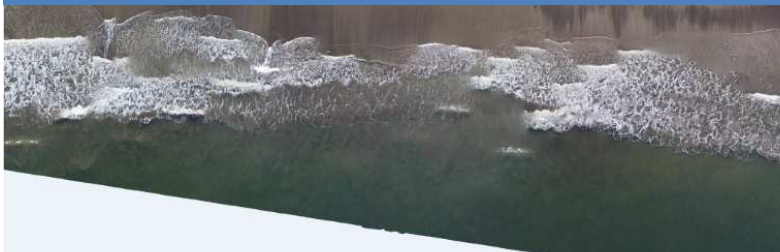


UAVの応用；沿岸域には様々な構造物が設置されています。特に、海岸侵食・高潮対策用の海岸保全構造物は、構造物の基礎ともいえる海底の侵食が激しい所に設置される傾向があります。そのために、保全構造物などの顕著な沈下が沈下及び散乱が生じる場合があります。構造物の維持管理のためには、定期的な三次元測量（高度空間情報化）が必要です。





UAVの応用； 太平洋に面する志布志湾内に設置された海岸保全構造物および格子網工法の施工箇所の写真測量(三次元情報化)を行いました。



鹿児島大学水産学部  
海岸環境工学研究室  
教授 西 隆一郎

[nishi24@fish.kagoshima-u.av.jp](mailto:nishi24@fish.kagoshima-u.av.jp)

Copyright; R. Nishi

本画像が必要な方は、西までご連絡ください。

